

～ ICT が創る未来の学び～

三戸町の GIGA スクール構想

現在 PC やスマートフォンをはじめ、ICT (情報通信技術) は日常生活にかかせないものとなっています。仕事や家庭、あらゆる場所で ICT が活用されている中、三戸町では子どもたちがこれからの社会を生きていく力を育み、可能性を広げられるように、ICT を活用した新しい学び (GIGA スクール構想) の実現に取り組んでいます。

GIGA スクール構想ってなに？

学校内に高速大容量の通信ネットワークと、児童生徒 1 人 1 台の端末の整備を一体的に行い、全ての児童生徒に対して質の高い学びを実現させることを目的としています。



どのような学びになるの？

「先生が教える」から「子どもが学ぶ」に変わります。

A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

▶ A1：教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

▶ B1：個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

▶ B2：調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

▶ C1：発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

▶ C2：協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

▶ B3：思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

▶ B4：表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

▶ B5：家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

▶ C3：協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

▶ C4：学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

※「学びのイノベーション事業」実践研究報告書（平成 26 年）より

端末を使ってみて…

小中一貫三戸学園斗川小学校の皆さんに取材してみました

子どもたちの感想

- 動画を見ながら勉強できて分かりやすい
- 自分で作った問題を、友だちと出し合いながら勉強できて楽しい
- キーボードが早く打てるようになった



先生の感想

- プリントの配布や回収の手間が省けて、授業の効率化につながった
- 漢字の勉強など、暗記科目の学習が特に はかどった

【問合せ】 三戸町教育委員会 ☎ 20-1157